

泌尿器科

《概要》

[スタッフ]

萩野恵三	(平成元年卒)	部長	(日本泌尿器科学会認定指導医・専門医)
西川 徹	(平成6年卒)	医長	(日本泌尿器科学会認定指導医・専門医)
児玉芳季	(平成12年卒)	医員	

2008年は部長の交代人事があった。1987年(昭和62)年12月以来20年4か月の長きにわたり勤務された土居 淳先生がご自身の開業に伴い2008年3月末に退職された。代わって2008年4月より萩野恵三：平成元年卒が赴任した。

2008年の入院患者総数はのべ365名(男288名、女77名)で2007年の323名に比し42名、前年比13%の増加となった。

入院患者の内訳ならび入院治療の詳細は表のごとくで、ほぼ例年通りであった。

手術に関しては泌尿器科全体で258件であり件数で37件、前年比17%の増加であった。なかでも膀胱癌に対する内視鏡手術(TUR-Bt)が104件と2007年の64件に比べて42件、前年比62%もの増加がみられた。前立腺では前立腺癌に対する根治的恥骨後式前立腺全摘除術が24件と前年に比べて7件減少した反面、前立腺肥大症に対する内視鏡手術(TUR-P)は33件と前年に比べて14件増加した。

2006年から開始された腎の腫瘍に対する腹腔鏡下手術は腎に対しては7件実施された。その他に尿路結石症に対する体外衝撃波結石破碎術(SWL)が外来、入院の合計で新患84件に対して300回施行された。SWLは従来から1症例あたりの治療回数が多くなる点が問題であった。そのため治療の効率化を図る目的でホルミウムヤグレーザーを使用した内視鏡手術(TUL:経尿道的尿管結石碎石術&PNL:経皮的腎結石碎石術)を積極的に施行した。2008年はTULを8件、PNLを1件施行した。これらの内視鏡手術は尿路結石症の治療期間を短縮する可能性を有するため今後も件数の増加が期待できる。

当施設は今後も泉州地域における基幹施設としての役割を十分に果たせるようにより多くの泌尿器科手術を安全かつ確実に施行していきたい。

《実績》

<2008年入院統計>

	男	女	計
上皮小体疾患			
原発性上皮小体機能亢進症	1	0	1
計	1	0	1
腎疾患			
腎癌	21	8	29
腎盂癌	9	0	9
腎膿瘍	0	1	1
腎盂尿管移行部狭窄	1	0	1
腎嚢胞	1	2	3
腎結石	3	2	5
急性腎盂腎炎	1	5	6
急性腎後性腎不全	0	1	1
腎外傷	1	0	1
特発性腎出血	1	1	2
計	38	20	58
尿管疾患			
尿管腫瘍	16	6	22
尿管結石	6	6	12
尿管狭窄	0	2	2
尿管異物(ステント)	0	1	1
計	22	15	37
膀胱疾患			
膀胱結石	8	2	10
膀胱結石+膀胱憩室	1	0	1
膀胱癌	112	23	135
膀胱癌疑い	0	1	1
膀胱破裂	1	0	1
陰部膀胱瘤	0	3	3
膀胱タンポナーデ	2	1	3
計	124	30	154
前立腺疾患			
前立腺肥大症	35		35
前立腺肥大症・膀胱結石	2		2
前立腺癌	31		31
急性前立腺炎	3		3
前立腺癌疑い	4		4
前立腺平滑筋肉腫	1		1
計	76		76
尿道疾患			
尿道損傷	1	0	1
尿道憩室	0	1	1
尿道狭窄	2	0	2
尿道腫瘍	3	0	3
傍尿道腫瘍	0	1	1
計	6	2	8
陰茎疾患			
真性包茎	1		1
計	1		1

	男	女	計
陰嚢内容疾患			
停留精巣	4		4
精巣腫瘍	3		3
陰嚢水腫	4		4
フルニエ壊疽	1		1
精索捻転	1		1
精索静脈瘤	1		1
陰嚢内血腫	1		1
計	15		15
その他			
腹圧性尿失禁	0	1	1
転移性腎周囲腫瘍	1	0	1
後腹膜腫瘍再発	0	1	1
脱水症	0	1	1
大腸憩室炎	1	0	1
敗血症	0	1	1
計	2	4	6
総計	285	71	356

<2008 年外来手術>

	男	女	計
男性不妊手術	1	0	1
ESWL	210(54)	85(24)	295(79)
包皮環状切除	2		2
余剰包皮切除	1		1
陰茎腫瘍切除	1		1
総計	215	85	300

<2008 年入院治療統計>

	男	女	計
上皮小体			
上皮小体摘除術	1	0	1
計	1	0	1
腎・尿管			
根治的腎摘除術(経腹的)	4	2	6
根治的腎摘除術(経腰的)	1	0	1
腹腔鏡下腎摘除術	5	2	7
腎尿管全摘・膀胱部分切除	3	2	5
腎尿管全摘・膀胱部分切除(尿管引き抜き)	4	2	6
腎摘除術	0	1	1
腎部分切除(マイクロターゼ)	1	0	1
腎部分切除	1	1	2
TUL	6	2	8
PNL	1	0	1
PNS	2	1	3
過酸加水素水注入	1	1	2
尿管狭窄手術(経尿道的)	1	2	3
尿管鏡検査	0	1	1
計	30	17	47

	男	女	計
膀胱			
膀胱全摘・回腸導管造設術	3	1	4
骨盤内臓全摘・回腸導管・人工肛門造設術	1	0	1
膀胱部分切除術	2	0	2
TUEC	2	0	2
TUR-Bt	83	21	104
TUR-biopsy	0	1	1
膀胱碎石術	9	2	11
膀胱切石術＋膀胱憩室根治術	1	0	1
膀胱破裂修復術	1	0	1
計	102	25	127
前立腺			
前立腺全摘・閉鎖リンパ節廓清	24		24
恥骨後式前立腺被膜下摘除術	2		2
TUR-P	31		31
TUR-P・膀胱碎石術	2		2
前立腺生検	4		0
計	59		59
尿道			
TVT	0	1	1
外尿道口形成術	1	0	1
尿道脱根治術	0	1	1
内尿道切開術	1	0	1
尿道憩室根治術	0	1	1
計	2	3	5
陰茎			
包皮背面切開	1		1
計	1		1
陰囊内容			
精巣固定術	4		4
高位精巣摘除術	3		3
精索捻転手術	1		1
陰囊水腫根治術	4		4
計	12		12
その他			
ESWL	3(3)	2(2)	5(5)
前膣壁形成術	0	3	3
免疫療法(インターフェロン)	7	1	8
放射線療法	3	0	3
動注化学療法	1	1	2
抗がん化学療法	43	11	54
Embolization(Varicocele)	1	0	1
保存的加療	24	14	38
陰囊内血腫ドレナージ	1	0	1
計	83	32	115
総計	288	77	365

*ESWL () 内は初回症例

《業績》

(1) 学会研究会報告 (2008.4~2009.3)

番号 整理	演 題	発 表 者	学 会 ・ 研 究 会 名	年 月 日
1	『膀胱尿道異物の2例』	○児玉芳季 西川 徹 萩野恵三	第26回泌尿器科紀の国フォーラム	2008.9. 和歌山市

(2) 学術講演 (2008.4~2009.3)

番号 整理	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
1	『STD(性感染症)について』	萩野恵三	泉佐野・泉南薬剤師会 117 回合同勉強会 院内大会議室	2009.2.12

(3) 院内研究活動 (2008.4~2009.3)

番号 整理	演 題	発 表 者	年 月 日
1	臨床集談会『尿路結石症と食生活』	萩野恵三	2008.5.22